

## フクシマシャジン *Adenophora divaricata* (キキョウ科) の光応答とカルス分化

○浜通子<sup>1</sup>, 中通夫<sup>2</sup>, 会津喜多男<sup>3</sup> (1 磐城大・理・生物, 2 岩代学院大・環境, 磐梯研究所・植物工学)

フクシマシャジン *Adenophora divaricata* はキキョウ科ツリガネニンジン属の多年草で、本州中北部、朝鮮、中国（北部・東部）の山地のやや乾いた斜面に生育する。ツリガネニンジンと似るが、がく裂片が披針形で全縁になる点が異なる。

フクシマシャジン *Adenophora divaricata* はキキョウ科ツリガネニンジン属の多年草で、本州中北部、朝鮮、中国（北部・東部）の山地のやや乾いた斜面に生育する。ツリガネニンジンと似るが、がく裂片が披針形で全縁になる点。